

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 江川の右岸に位置する広大な水田地帯
- 豊富な水源と平坦な地形を生かし、水稲や、ビール麦等の土地利用型農業が盛んに行われている地区

【支援内容・背景】

- 中心経営体への農地集積が進む中で、経営規模の拡大や経営の効率化を進め安定的に地域を担える経営体の育成が必要。
- 助成対象者の代表者は50代で、水稲、ビール麦、露地野菜の複合経営を行っており、地域の主要な担い手となっている。令和2年度には、後継者も経営に入り今後も規模拡大の意向がある。
- 地区における水田の大規模な経営体として育成・支援するため事業を実施した。

栃木県

下野市

助成対象者「法人H」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成7年度 経営改善計画の認定
- 令和3年度 法人化

《事業活用の背景》

○ スマート農業技術の導入により土地利用型部門における低コスト・省力化を図り、さらなる経営面積の拡大と収益増を見込んでいる。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 38百万円

○経営面積 41.5ha

【事業による整備内容】

○自動操舵トラクター（98.5ps）1台	
事業費 11,130千円 （国費 5,059千円）	
○ロータリー（作業幅240cm）1台	
事業費 1,163千円 （国費 528千円）	
○ウイングハロー（作業幅450cm）1台	
事業費 1,707千円 （国費 776千円）	

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○売上高 59百万（155%）

○経営面積 57.1ha（137%）

事業の
効果

《対象者》 自動操舵トラクター等の導入により、作業の効率化や生産性の向上が図られ、経営規模及び売上高の拡大を図ることができた。

《地区》 安定的に地域農業を担える経営体を育成することができた。